

附 録

幼稚園は文字を教えるところではない。しかし、姓名く
らいは書くし、唱歌その他をボードに書くことは、いく
らもある。それには、新しくきめられたかなづかいによる
ことが必要である。學校の教科書もそうなるし、子どもの
繪本も、おとなの新聞雑誌もそうなる。家庭や幼稚園で、
舊かなづかいを書いては、子どもをこんらんさせる。そのた
めの参考として下さい。例は幼稚園などでも使うことがあ
るかもしれない普通日常のやさしい言葉だけにした。(尚
本誌も全部新しいかなづかいにした。諸先生の原稿も出
來るだけ直させていたゞいたが完全でないかもしれない。
しかし、子どもに示すものは必ず正しく一定したい。)

(編輯部)

現代かなづかい

(一)

- 一、このかなづかいは、大體現代語音にもとづいて、現代語をかなで書きあらわす場合の準則を示したものである。
- 一、このかなづかいは主として現代文のうち、口語體のものに適用する。
- 一、原文のかなづかいによる必要のあるもの、またはこれ

を變更しがたいものは除く。

表記に關する通則

- 第一 ア列長音は、ア列のかなに^あをつけて書く。
 - 第二 イ列長音は、イ列のかなに^いをつけて書く。
 - 第三 ウ列長音は、ウ列のかなに^うをつけて書く。
 - 第四 エ列長音は、エ列のかなに^えをつけて書く。
 - 第五 オ列長音は、オ列のかなに^うをつけて書くことを本則とする。
 - 第六 ア列拗音の長音は、ア列拗音のかなに^あをつけて書く。
 - 第七 ウ列拗音の長音は、ウ列拗音のかなに^うをつけて書く。
 - 第八 オ列拗音の長音は、オ列拗音のかなに^うをつけて書くことを本則とする。
 - 第九 拗音をあらわすには、や、ゆ、よを用い、なるべく右下に小さく書く。
 - 第十 促音をあらわすには、つを用い、なるべく右下に小さく書く。
- 第一 お、え、を、は、い、え、おと書く。たゞし助詞のを除く。
- 例 一、^おを^いと書くもの。